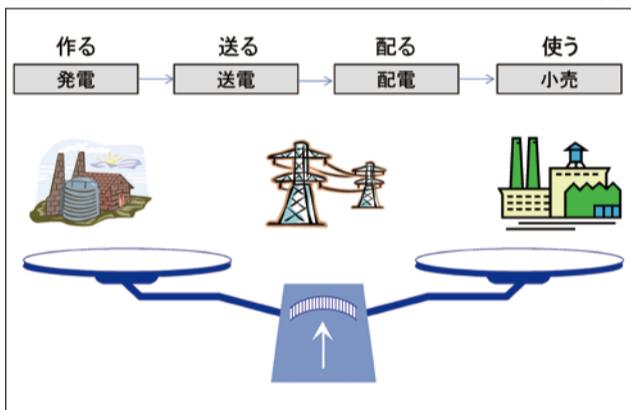




グリーンコープ電気 今後の供給見通し ふくおかから全エリアへ

2016年7月 実験供給
(福岡県糸島市内の約300の組合員世帯を対象)
2016年11月 福岡県内全エリアの組合員を対象
2017年1月 九州全エリアに展開
2017年4月 グリーンコープの全エリアに展開

電気事業のしくみ(同時同量)



電気は溜めておくことができないので、常に作る電気と使う電気の量を一致させなければいけない。そのために、燃料や発電方法の違う数種類の電源を確保する必要がある(図2)。

私たちの生活になくてはならない電気。その電気を常に安定的に供給していくためには、日々、刻々と変化する電気の需用量と供給量を予測する必要があります。

電気は基本的に溜めておくことができません。そのため「作る電気」(発電)と「使う電気」(小売り)の量を常に一致させなければなりません(同時に、停電することはありませんが、補給さ

れた電気に対して高額な料金を支払わなければなりません。そのため、経験・実績のある新電力と提携

脱原発社会
実現のために

原発フリーの電気の供給をめざして グリーンコープは電気の共同購入から開始します

東日本大震災による原発事故以降、グリーンコープは自らの手で原発に頼らない電気を生みだそうと、グリーン・市民電力を設立し、エリア内の各地に自然エネルギーの発電所の建設を開始しました。そして、同じ思いを持つ団体の事業への出資や共同事業など、取り組みの輪を広げてきました。

今年4月からの電気の小売り完全自由化を受け、グリーンコープもいよいよ電気の共同購入を始めます。最初から「原発フリー」とはいきませんが、時間をかけて「原発フリーの電気」をめざしています。グリーンコープが供給する電気の名称は「グリーンコープ電気」。7月より、ふくおかの一部地域から実験供給を開始します。

そのため、「丸紅新電力(株)」が4月に設立した子会社です。丸紅(株)は、これまで国内外で発電所の建設から電気の小売り事業

を始めたばかりです。このグループの中でも電源の調達、需給管理を行ったためのグループです。このグループの中で電源の調達、需給管理を行うためのグループは、まだ、そのノウハウや十分な電源を持ち得ていません。そのため、現在のグリーン・市民電力は、まだ、そのノウハウを安定して供給できるようになります。しかし、それに伴うコストがかかることがあります。逆に、使う分に足りなければ、大手電力会社(10電力会社)から瞬時に電気が補給されることになります。それによつて、停電することはありませんが、補給さ

れた電気に対する高額な料金を支払わなければなりません。そのため、経験・実績のある新電力と提携

需要	供給	特徴	最適な燃料タイプ
一日の電力消費量の動向	発電グループ	役割	
	リザーブ	・ピーク需要の増加を吸収するため待機	・揚水、ガス、石油
	ピーカー	・ピーク時だけの電力供給	・即効性の高い発電ができるマシーン
	ミッドサイクル	・ピークからオーフリーの間の電力供給	・頻繁な起動・停止に優れたマシーン
	ベースロード	・昼夜問わず必ず必要な電力の供給	・原子力、石炭、通常水力

自然エネルギーは稼動にエネルギーを使わないのでベースロードに含まれるが、天候により発電できない場合もあるため、バックアップ電力が必要になる。

<図1、図2とも丸紅新電力(株)提供>

一方、常時バックアップ電力には大手電力会社の様々な発電所の電気が含まれているため、この内原発で発電した電気も含まれています(2011年4月～2016年1月の九州電力の発電実績比率では約11.6%相当)。また、様々な発電所からも電気が含まれていますが、原発の電気は含まれていないと言われています(原発の電気は市場に出されていない)。

一方、常時バックアップ電力には大手電力会社の様々な発電所の電気が含まれているため、この内原発で発電した電気も含まれています(2011年4月～2016年1月の九州電力の発電実績比率では約11.6%相当)。また、様々な発電所からも電気が含まれていますが、原発の電気は含まれていないと言われています(原発の電気は市場に出されていない)。

一方、常時バックアップ電力には大手電力会社の様々な発電所の電気が含まれていますが、原発の電気は含まれていないと言われています(原発の電気は市場に出されていない)。

一方、常時バックアップ電力には大手電力会社の様々な発電所の電気が含まれていますが、原発の電気は含まれていないと言われています(原発の電気は市場に出されていない)。

一方、常時バックアップ電力には大手電力会社の様々な発電所の電気が含まれていますが、原発の電気は含まれていないと言われています(原発の電気は市場に出されていない)。